

## 10月の重点教育目標『自分で考え行動する子』

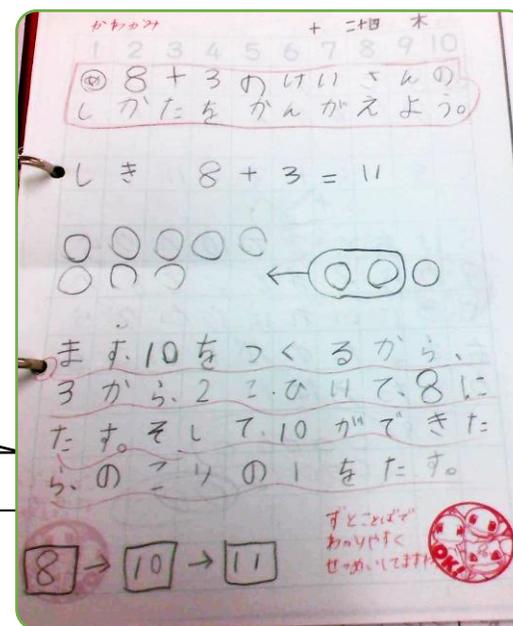
## 【自分で考え行動する子】

10月は、学習に重点を置いて指導してきました。1学期は、まねることから始まった学習も、2学期は今まで習ったことを活かして考える学習が多くなりました。

算数の「どちらがおおい」の学習では、形の違うペットボトルの水の比べ方を考えたり、国語の「サラダでげんき」の学習では、スラスラ読むだけでなく、登場人物がどんな順序で出てきて何をしたのか読み取ったりするなど、ステップアップした活動に取り組んでできました。「勉強が難しくなった。」

「やることが多いな。速いな。」と感じる子もいるかと思いますが、「できることが増えた。」と感じる子が増えていくよう引き続き指導していきます。

「たしざん」の学習では、繰り上がりの計算の仕方を考え、ノートに表現しました。



### 10月の重点教育目標『自分で考え行動する子』

#### 【しばさき大すき！たんけんたい】

1学期に町たんけんで見つけた場所やお店に行ってきました。インタビューしたい内容を自分で考え、グループでどのインタビューがよいのか話し合ったり、挨拶する順番を決めたりと自分たちで進められるように準備しました。

当日は、「先生は誰も付いて来ないの？」と不安な様子を見せながらもハートフルボランティアの方の見守りの中、無事に帰ってくることができました。どのようなことを聞いてきたのか気になってグループ毎に尋ねてみると、自分でメモした紙を見ながら一生懸命説明をする姿が見受けられました。

帰って来てからは、グループの友だちと行った所の驚いたことや素敵なことをまとめ発表しました。

グループ毎に学習が進められる姿に成長を感じました。また、感想では、「この場所が大人になってもこの町にあってほしい。」との声も聞こえてきました。これからも柴崎町を愛する気持ちを大切にしてほしいです。



## 3年生

### 10月の重点教育目標『自分で考え行動する子』

#### 【思考力・判断力・表現力を高める活動】

3年生では、授業を通して、楽しみながら思考力・判断力・表現力の育成をしています。先日の算数科の三桁のかけ算の授業では、どうやったら問題を解くことができるのか、主体的に考え、粘り強く取り組んでいる姿が見られました。個人で思考を深めている子、友達と協働しながら取り組んでいる子など、子どもたちが学習効果の最大化を考え、学習方法をその時々で選ぶこともできるようになってきました。その後、自分が考えた解き方を友達同士で交流をすることで、自信をもって話すことができたり、新しい考えに気がつき、書き加えたりしている児童も見ることができました。今後も各教科の見方・考え方を取り入れた授業を意図的・計画的に取り入れて行きたいと考えています。



## 10月の重点教育目標『自分で考え行動する子』

### 【体験が学びを深める鍵になる～玉川上水・羽村郷土資料館見学～】

子どもたちの学びの意欲の高まりを感じた1カ月間でした。10月に行った、社会科見学では「玉川上水・羽村取水堰・羽村郷土資料館」に見学に行きました。社会科「とどけよう命の水」の学習で、玉川上水ができた理由や作り方、当時の人々の苦労や努力を学習してきたことで「教室での学び」と「実際に目に見たこと」を比較しながら、学びを深める姿が見られました。実際の玉川上水を見て「思っていたより大きかった」「これを手作業でやっていたなんてすごい」というつぶやきも聞こえてきました。郷土資料館の方が「玉川上水についてもっと詳しくなりませんか？」という質問に、頷きながら手を上げていました。

また、社会科だけでなく国語科の学習ともつなげながら、グループの仲間と話す姿も見られました。国語科で学習した「ごんぎつね」の結末部分の「土間にくりがかためて置いてあるのが」という文章と「土間や囲炉裏は家族が一番集まる場所なんだよ」という資料館の方の話から「先生、気付いちゃったよ」「ごんは兵十と家族になりたかったんじゃないかな」と話をする様子も見られました。

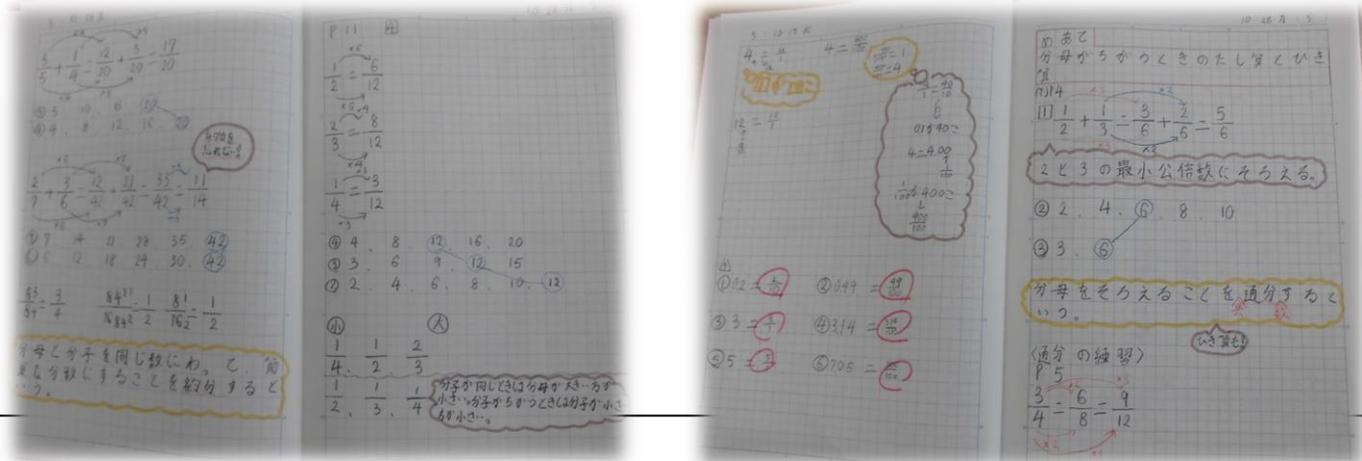
教室中で学んできたことを活かして、体験や見学したことで、教室の中だけでは感じられなかった「学びの扉」が開く音が聞こえたように感じました。これからも、教室の学びから扉を開けて、さらに学びを広げたり深めたりして行ってほしいです。



## 10月の重点教育目標『自分で考え行動する子』

## 【えんぴつを使って丁寧に考える】

算数の学習では、「問題文を読んで大切な箇所に線を引き、聞かれていることをつかむ。」  
 「より確実に答えを導くために、筆算や途中計算を最後まで書く。」  
 「問題の解き方や自分の考えをノートに書いたり友達と交流したりする。」等、丁寧に重点に取り組んでいます。頭の中だけで考えて終わりにせず、難しい問題に対しても鉛筆を使って（実際に書いて）試行錯誤しながら粘り強く、丁寧に取り組むことで学力が高まっていくことを多くの児童が実感しています。今後も思考力の育成のために、「鉛筆を使って丁寧に考える」ことを合言葉に指導を続けていきます。



## 6年生

### 10月の重点教育目標『自分で考え行動する子』

#### 【自分達で考え、行動する楽しさ】

立川市民科「立川の魅力再発見」の学習の一環で行っている GREENSPRINGS のパンフレット作り。現在、立飛ホールディングスの広報担当の方のお話や、実際の調査で発見したことをもとに、グループでパンフレットを作成中です。どうすれば多くの人に手に取ってもらえるか、手に取った人達に魅力が伝わるか等を自分たちで考え、試行錯誤しながら作っています。今後は、仕上げたパンフレットを担当の方に見ていただき、プロの視点からアドバイスをいただいて、よりよいパンフレットに磨き上げます。出来上がったものは、12月のクリスマスイベントに合わせて配布される予定です。初の試みに、子ども達もこちらもどきどきしつつ、楽しみながら取り組んでいます。自分達で考えたものが形となるまでの難しさ、それを乗り越える楽しさを味わいながらすすめてまいります。



### 10月の重点教育目標『自分で考え行動する子』

#### 【3・4・5年生が社会科見学に行きました！】

先週と今週にかけて、3～5年生が社会科見学に行きました。あおぞら学級では、事前学習で日程や内容の確認を行い、子どもたちが「〇〇を見てみたい」「どんなことをしているんだろう」といった興味・関心をもって見学に臨めるようにしています。その結果、子どもたちは主体的に見学中にメモを取ったり、質問をしたりするなど、実りのある時間になりました。

また、あおぞらでは社会科見学を地域社会の学習としてはもちろん、これまでの校外歩行や宿泊学習で学んだ「道路を歩くとき」「他のお客さんがいるとき」「交通機関を利用するとき」のきまり・マナーを生かす場として、社会科見学においても声掛けをしました。子どもたちが落ち着いて行動した結果、無事に見学することができました。

